



## 2024年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年9月13日

上場会社名 フィットイージー株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 212A URL <https://fiteasy.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 國江 仙嗣

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営管理本部長 (氏名) 藤原 祐次 TEL 058 (215) 8744

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年10月期第3四半期の業績（2023年11月1日～2024年7月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第3四半期	4,733	-	1,191	-	1,162	-	768	-
2023年10月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第3四半期	51.35	49.64
2023年10月期第3四半期	-	-

- 当社は、2023年10月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2023年10月期第3四半期の数値及び2024年10月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
- 当社は、2024年1月15日開催の取締役会決議に基づき、2024年1月23日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。2024年10月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年10月期第3四半期	5,493	2,662	48.5
2023年10月期	4,106	1,074	26.2

(参考) 自己資本 2024年10月期第3四半期 2,662百万円 2023年10月期 1,074百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期	-	-	-	0.00	0.00
2024年10月期	-	0.00	-	-	-
2024年10月期（予想）	-	-	-	20.00	20.00

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
- 期末配当金の内訳：普通配当14円、記念配当6円(東証スタンダード、名証メイン 上場記念配当)
  - 当社は、2024年1月23日付けで普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。2024年10月期（予想）については、株式分割後の内容を記載しております。

### 3. 2024年10月期の業績予想（2023年11月1日～2024年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	45.0	1,590	42.8	1,560	42.5	1,027	42.2	67.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
詳細は添付資料の5ページ「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年10月期3Q	15,840,000株	2023年10月期	14,940,000株
② 期末自己株式数	2024年10月期3Q	—株	2023年10月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年10月期3Q	14,972,847株	2023年10月期3Q	14,940,000株

(注) 当社は、2024年1月15日開催の取締役会決議に基づき、2024年1月23日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。期末発行済株式数及び期中平均株式数については、2023年10月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第3四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	5
(セグメント情報等の注記) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する規制が緩和され、緩やかに持ち直しているものの、世界的な物価高騰が進むなど不透明な状況は継続しております。

当社が属するフィットネスクラブ業界におきましては、異業種からの新規参入や同業種の新業態による低価格帯ジムの出店などフィットネスクラブは引き続き増加傾向にあります。

しかし、当社は、企業理念である、MISSION「新たなフィットネス文化の創造で世界を変えていく」を掲げ、VISION「FIT YOUR STYLE、FIT-EASYでは安心安全で楽しくご利用いただけるトレーニング環境を提供し、皆様の生活の一部となれる、世界一のフィットネスクラブを目指します。」を達成するべく、運動を続けることの重要性及び人々の新たな生活基準に沿った生活スタイルを提案するために、フィットネストレーニング機器のみならずアミューズメント要素（スタジオ、高濃度酸素ルーム、ゴルフ、ラウンジ、サウナ、セルフエステ等）を取り入れたアミューズメントフィットネスクラブ（商標登録第6724824号）「フィットイージー」を日本全国に事業展開し、サードプレイス（自宅でもない職場でもない第三の場所）となる店舗運営によって、他社とは異なる差別化により、フィットネスクラブ業界でもシェア獲得に繋がっているものと考えております。

また、当社では新たにBIツールを導入し、より強固なデータ経営を推進しております。データ経営の推進により、会員様一人ひとりを点で捉える事で顧客満足度向上を目指した経営及び店舗運営に取り組み、フィットネスクラブ業界水準の退会率ではなく、当社独自の水準を設ける事で退会抑制に繋げております。

このような経営環境の中、当社は2024年3月に150店舗達成後も新規出店を続け、また効果的なキャンペーンの実施や会員満足度の向上への取り組みを強化した結果、店舗当たり会員数が堅調に推移したこと等により、2024年7月末時点の店舗数及び会員数は以下のとおりとなりました。

#### ■フィットイージー店舗数及び会員数（直営店・FC店 合計）

店舗数 168店舗  
会員数 132,923人

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は4,733百万円、営業利益は1,191百万円、経常利益は1,162百万円、四半期純利益は768百万円となりました。

なお、当社はフィットネスクラブ運営事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における総資産合計は、5,493百万円となり、前事業年度末に比べ1,386百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が1,028百万円、差入保証金が153百万円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、2,830百万円となり、前事業年度末に比べ201百万円減少いたしました。これは主に、買掛金が129百万円増加した一方、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が324百万円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、2,662百万円となり、前事業年度末に比べ1,588百万円増加いたしました。これは主に、東京証券取引所スタンダード市場及び名古屋証券取引所メイン市場への上場に伴う新株発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ409百万円増加したこと、四半期純利益768百万円を計上したことにより利益剰余金が増加したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年10月期の業績予想につきましては、直近の業績の動向を踏まえて上方修正しております。

詳細につきましては本日（2024年9月13日）公表いたしました「業績予想の修正（上方修正）及び配当予想の修正（増配及び記念配当）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年10月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,421,168	2,449,802
売掛金	428,249	488,101
商品	62,737	73,500
販売用不動産等	99,291	47,793
その他	173,947	275,743
貸倒引当金	△1,135	△1,162
流動資産合計	2,184,260	3,333,779
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	688,876	744,057
その他(純額)	475,561	518,310
有形固定資産合計	1,164,437	1,262,368
無形固定資産		
	3,991	6,569
投資その他の資産		
差入保証金	456,306	610,006
その他	297,811	280,966
投資その他の資産合計	754,117	890,972
固定資産合計	1,922,547	2,159,910
資産合計	4,106,807	5,493,690
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	164,304	293,653
1年内償還予定の社債	115,000	115,000
1年内返済予定の長期借入金	239,619	195,558
未払法人税等	298,772	226,781
資産除去債務	8,391	5,505
契約負債	296,498	321,597
賞与引当金	17,040	12,199
その他	258,314	247,020
流動負債合計	1,397,939	1,417,315
固定負債		
社債	385,000	290,000
長期借入金	720,017	439,166
資産除去債務	110,000	139,859
その他	419,741	544,614
固定負債合計	1,634,758	1,413,640
負債合計	3,032,698	2,830,955
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	509,860
資本剰余金	50,000	459,860
利益剰余金	924,108	1,693,014
株主資本合計	1,074,108	2,662,734
純資産合計	1,074,108	2,662,734
負債純資産合計	4,106,807	5,493,690

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)
売上高	4,733,991
売上原価	3,044,600
売上総利益	1,689,391
販売費及び一般管理費	497,402
営業利益	1,191,989
営業外収益	
受取利息	2,903
受取手数料	6,038
その他	1,353
営業外収益合計	10,295
営業外費用	
支払利息	10,714
上場関連費用	18,361
株式交付費	8,071
その他	2,807
営業外費用合計	39,954
経常利益	1,162,330
税引前四半期純利益	1,162,330
法人税等	393,424
四半期純利益	768,906

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年7月23日に東京証券取引所スタンダード市場及び名古屋証券取引所メイン市場へ上場いたしました。株式上場にあたり、2024年7月22日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株発行900,000株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ409,860千円増加しております。

この結果により、当第3四半期会計期間末において、資本金が509,860千円、資本剰余金が459,860千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)
減価償却費	138,539千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当第3四半期累計期間(自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)

当社は、フィットネスクラブ運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。